**２．演習（２日目） 検討事例**

**検討事例**

日　時：11月19日（火） 09時00分～11時30分

|  |
| --- |
| **《事例①》**  軽度の知的障害のある利用者A氏は、お菓子が大好物で、購入機会があればたくさん購入し、手元にあると際限なく食べてしまう。ケア会議において『食事が入らなくなり不健康』との理由で、お菓子はケアステーション預かりとなり、一日の量を決めて管理している。  A氏は、肥満傾向にはあるが、特に病気はない。「もっとお菓子を出して。私のものだ」と日々主張される。  ベテラン職員Bは、そのたびにA氏に近づき、大きな声で「昨日も言いましたよね」「わかりますよね」「決まりです」などと諭す。  　　新人職員Cは、その様子を見ると辛い気持ちになるがどうしたら良いのかわからない。  **《事例②》**  職員Bは、利用者A氏から「大勢で一緒に歌う活動がしたい。コーラス部を作ってほしい」との要望を受けた。  　　『音楽を指導できる職員はいそうにない』『施設にピアノはない』『歌に興味がありそうな利用者はあまりいなさそう』など、できない理由がいくつも思い浮かんだ。  　　Bは「うちの施設では無理です」とA氏に伝えた。  **（討議課題）**  （１）ケアスタンダードにかなう解決策を模索する。  　※多角的に考え、職員としてのあり方、チームとしてのあり方、サービス提供体制の変更などを考慮すること。  （２）自施設での対応を考えた場合、解決策を実行するにあたり、困難が生じそうな事項は何かを考える。  　※時間が許す範囲で、それぞれが考えたことをグループ内で話し合い、意見交換・相互  アドバイス、まとめをすること。 |